

# 七高SSH通信

H30・7・20  
石川県立七尾高等学校  
SSH推進室  
平成30年度 第6号

## マリンサイエンス

7月10日(火)～12日(木)にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において1年生理科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を充分行うことができました。海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた班に、景品として、サクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「食品生化学」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。

1年生にとっては、初めての宿泊した行事でしたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。



金沢大学環日本海域環境研究センター  
臨海実験施設宿泊棟前にて



「ヤドカリとウミウシの居場所選び」  
最優秀賞

### ☆生徒の感想☆

○2日間しかなくて短かった。ポスターの作成が上手いかずに時間ギリギリまでかかってしまった。実験するときにもっと疑問を持ちながらするべきだと思った。  
○マリンサイエンスでは表現する難しさを知ることができました。実験でいいデータがとれても、それを発表するとき、いい言葉がなかなか見つからず、とても苦労しました。これからはそのような力を磨きたいです。  
○初めて課題研究をして、自分たちで観察し、考えてまとめるということがとても難しかったけれど、とても楽しかった。実験を行っているとき「この時はどうなんだろう」「なんでこうなったんだろう」とどんどん疑問が出てきて、まだまだ知りたいことがあって時間が足りないと感じました。とてもよい経験になりました。  
○マリンサイエンスを通して、観察する力がついたと思う。1つのものをずっと観察するという体験は今までしたことがなかったので、とても自分のためになった。



### Research Communication

7月12日(木)、理数科2年生のRCⅡでFuture Technology at Hand(手の届く未来の技術)と題して、未来を感じさせる10の技術についてポスター発表を行いました。聴衆を変えて同じ発表を繰り返すことで、どの班も上達が見られました。

発表されたテーマは次のとおりです。

- 「ドローン」「パワードスーツ」
- 「空飛ぶクルマ」「デザイナーベイビー」
- 「自己学習する人工知能」「自動運転車」
- 「ウェアラブルコンピュータ」「火星移住」
- 「スマートスピーカー」「宇宙エレベータ」

